

提出された議案

令和6年2月定例会では議案93件が提出され、いずれも
原案のとおり可決、承認または同意されました。

- 議員提出議案 1件
 - ・福岡県における性暴力を根絶し、性被害から県民等を守るための条例の一部を改正する条例の制定について
- 予算議案 32件
 - ・令和6年度福岡県一般会計予算
 - ・令和5年度福岡県一般会計補正予算(第6号) など
- 条例議案 30件
 - ・地方自治法の一部を改正する法律の制定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
 - ・知事等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の制定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
 - ・福岡県精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県国民健康保険法施行条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県子ども・子育て会議条例の全部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県障がい福祉サービス事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県障がい児通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県農林水産業・農山漁村振興条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・漁港漁場整備法及び水産業協同組合法の一部を改正する法律の制定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
 - ・福岡県道路占用料徴収条例等の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県特定都市河川浸水被害対策法施行条例の制定について
 - ・福岡県都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県公立学校情報機器整備基金条例の制定について
 - ・福岡武道館条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県暴力団排除条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・福岡県緊急経済対策資金等信用保証料補填臨時基金条例の一部を改正する条例の制定について など
- 専決処分したものについて報告し承認を求める議案 1件
 - ・道路の管理の瑕疵による損害賠償
- 契約の締結に関する議案 11件
 - ・包括外部監査契約の締結について など
- 経費負担に関する議案 11件
 - ・空港整備事業の経費の負担について など
- その他の議案 3件
 - ・福岡県スポーツ推進計画の策定について など
- 人事に関する議案 4件
 - ・教育委員会教育長の任命について など

可決された意見書

- 政治資金パーティー裏金問題の再発防止等を求める意見書
- 生涯を通じた国民皆歯科健診の実現を求める意見書
- 保育所等における保育士の処遇の改善等を求める意見書
- 地域の中小企業・小規模事業者への支援充実を求める意見書

代表質問を終えて

自民党県議団

就任3年間の総括と今後の取り組みについて質したところ、服部誠太郎知事からは、新型コロナウイルス対策や度重なる豪雨災害への対応など、緊急事案に対処しながらも、将来を見据え、公約に掲げた3つのチャレンジを着実に進めてきた。今後、県と市町村のより強固な関係構築を図り、県政における幅広い政策を力強く実行すること、「実」を上げ福岡県の未来を見据え、成長・発展を加速前進させてまいると力強く答弁されました。

バス・タクシー運転手不足が社会課題として顕著化している事について質したところ、女性や外国人など多様な人材を運転手として受け入れるために必要なトイレや更衣室の改修、配車アプリの導入など職場環境の整備に助成をすると答弁がありました。

プレミアム付き商品券について今後の発行支援にどのように取り組むのかと質し、地域の中小企業・小規模事業者は厳しい経営環境にあり来年度に限り、プレミアムに対する助成率を今年度同様に据え置くことと答弁されました。

我が会派の藏内勇夫相談役が、ワンヘルス認証取得の「八女茶」あまおう」をアメリカ獣医師会訪問時に持参され、品質の高さを大絶賛されました。そこでワンヘルス推進について質したところ、県が進める「福岡県ワンヘルス認証制度」は、現在認証品目400品目を、認証を取得した農林業者は1万経営体を超えて順調に拡大しており、輸出を促進すると答弁を得ました。最大会派として引き続き、県民の皆さまの負託に応えてまいります。

民主県政県議団

服部誠太郎知事から、来年度は持続可能な社会への改新、イノベーションの創発の2つの視点で施策を展開する、選挙公約は着実に進めてきたとされた。また地震災害に関し、新たな活断層を追加した防災アセスメント調査を行い地域防災計画を改定する、水道の基幹管路の耐震化や多くの女性の防災・災害対応への参画を働きかけるとされた。

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行に伴う県の基本計画は関係機関、学識経験者等による支援の在り方の議論を踏まえ策定する、医師の2024年問題に関し、地域差はあるものの本県は医師多数県である、また特定行為ができる看護師養成や女性医師の復職支援をし、地域の実情に応じた医療提供体制を構築する、薬物問題について、若年者の薬物乱用防止啓発を徹底する、また専門医療機関等と協力し薬物依存からの回復を支援するとの知事答弁を得た。

部落差別事案はインターネットでの差別書込みの増加がみられ、教育・啓発、相談体制の充実に運動団体と連携して取り組むこと、花粉症対策ではスギ人工林の多い地域での重点的伐採と少花粉スギ・ヒノキへの植え替えを推進していると知事から回答を得た。

多様化する学びへの対応として、県立高校通信制課程の充実を図るとともに、不登校経験者の学習意欲を踏まえた特例クラスの設置を目指すこと、また大牟田市が設置する夜間中学「ほしぞら分校」への必要な人員配置を支援するとの発言を教育長から得た。

公明党

賃金向上を含めた中小企業への効果的な支援、災害時、特に災害弱者への対応、未来を担う子どもが安心して学び、成長できる環境整備などの課題を中心に服部誠太郎知事、教育長、警察本部長へ以下の概要の通り質問しました。予算編成については、施策3本柱に基づき、市町村との協働により、県が取り組む成長産業分野への中小企業の新規参入、成長発展に向けて取り組みが進展するよう十分配慮すること。

・災害時に確実に機能する福祉避難所などの避難所とするべく、ベッドやトイレを早急に用意できる体制をとるよう指摘。

・災害後の被災者再建において、仙台市が先駆けとなった災害ケースマネジメントの取り組みが必要であり、県として市町村支援の観点からも取り組みを進めるよう指摘。

・水道管の耐震化、非常用電源の確保については市町村の取り組みが遅れており、県民の生命を守る上から早急な対策が必要である。

・本県の離婚率は高く、公的支援制度が届いていないひとり親などに対し、県として相談窓口の充実を図るとともに、広報など必要な情報提供を推進すること。

・県のホームページ上に教育委員会のトップページを立ち上げ、教育が果たすべき重要課題が山積する中、県教育委員会としての積極的な情報発信を行うべき。

・学校現場における全児童生徒を対象とした、スクリーニングを確実に実施するとともに、「SOSの出し方教育」を含む自殺予防教育を充実させ、子どもたちの声を確実に拾い上げ、早期発見・早期支援に結び付けること。

新政会

今回の代表質問は大きく分けると、①知事任期3年目の総括と予算案、②災害対策、③その他の県政課題、この3本柱で構成し、質問時間60分の範囲で県政課題を幅広く取り上げました。

①について。服部誠太郎知事は令和6年度が任期最終年度。そこで公約達成の見通しも含め、3年間の総括そして、最終年度にかける意気込みを伺いました。また、2月定例会が予算議会であることから、重点施策の狙いを質し、その上で、当会派からも幾つかの施策について掘り下げました。物流の2024年問題におけるトラックドライバーの環境改善や、金融・資産運用特区に選ばれるための取り組みなどです。

②について。元且に発生した能登半島地震を受け、本県による被災地支援体制や木造住宅の耐震化促進、道路啓開計画について質しました。さらに、自衛隊法上、災害派遣要請の主体である知事の職責の重さに鑑み、自衛隊との日頃の連携や自衛官募集への協力についても取り上げました。

③について。まず、自動車政策として幅広く問いました。自動車税の将来予測(減少)や若者の車離れに関し、若者割などの減税策を提案。また、自動車整備士不足問題、自動運転普及に伴う道路管理上の課題、整備不良・不正改造車対策、ダイハツグループの出荷停止に伴う県内中小企業支援なども取り上げました。次に、海外との関係として、国際交流の今後や、インバウンド対策、外国人との共生を問い、その他農林水産問題や、学校での生成AI活用や英語能力向上など、教育問題も盛り込みました。

今後、県議会質問を通じ、さまざまな政策提言を行いたいと思います。